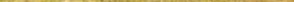
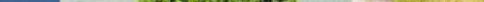




環境経営2024年度 レポート



一般財団法人
山形県理化学分析センター

1. 環境経営方針 · · 2
2. 組織の概要 · · · 3
3. 事業内容 · · · · 4
4. 環境経営目標 · · 5
5. 環境経営計画 · · 6
6. 環境経営目標および環境経営計画の実績 · · 7
7. 環境関連法規等の順守および評価、訴訟などの有無 · · 14
8. 全体の評価と見直し · · 14



環 境 経 営 方 針

一般財団法人山形県理化学分析センターは、環境、衛生、医薬品などの検査、分析および環境アセスメント調査業務を通して、人々の健康を保ち、生物多様性の保全及び循環型社会の推進など自然と人間との調和ある共存に貢献します。また、事業活動に伴う環境への負荷を削減するため、役職員全員が環境経営システムへの理解を深め、以下の活動に取り組みます。

活 動 方 針

1. 業務の効率化を図り、作業時間とエネルギーを削減します。
2. 分析等で使用した器具機材は、可能な限り再資源化に努め、廃棄物を削減します。
3. 環境負荷の少ない製品やサービスを調達します。
4. 多くの人に環境への理解をより深めてもらうため、「美しい地球環境講座」などの環境教育に取り組みます。
5. 環境ボランティア活動への参加を通して、社会貢献活動に努めます。
6. 環境関連法規などを遵守します。
7. 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善します。

制 定 2006年（平成18年）12月 8日
改 訂 2024年（令和 6年） 4月 1日

一般財団法人山形県理化学分析センター

理 事 長 大 泉 茂

2. 組織概要

(1) 事業所名及び代表者名

一般財団法人山形県理化学分析センター
理事長 大泉 茂

(2) 所在地

山形 〒990-2473 山形県山形市松栄一丁目6番68号
仙台 〒982-0003 宮城県仙台市太白区郡山字谷地田東14番19号
飯塚 〒990-0845 山形県山形市飯塚町135番地の14

(3) 設立年月日

昭和47年3月28日（一般財団法人登記 平成22年6月18日）

(4) 環境管理責任者

総務グループ 松本 義文 TEL 023-645-5308

(5) 設立趣意

県衛生研究所はじめ県立山形工業試験場等公的機関でのみ行っていた各種公害の調査分析を補完するとともに、生活環境の汚染に係るより精密な分析能力を培い、さらに各種講習会等を開催して公害防止技術の習得及び公害防止意識の啓蒙を図り、もって公害の防止に資するため。

(6) 事業規模（2025年3月31日現在）

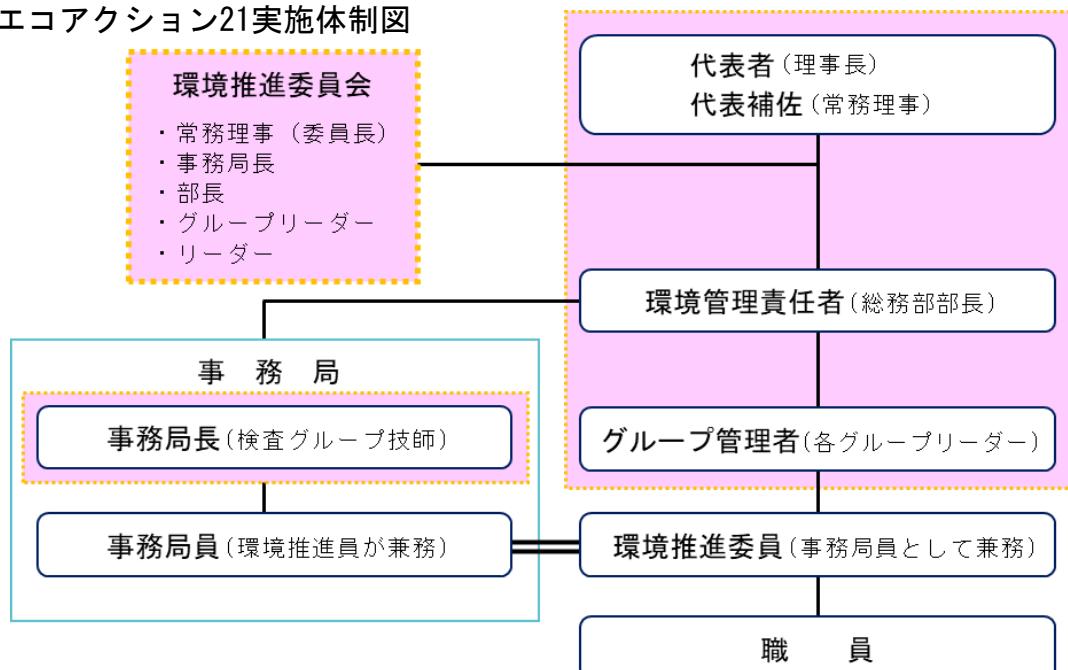
基本財産 1億7,283万円

役職員数 57名（内、派遣2名）

(7) 対象範囲および対象サイト

全組織における環境、衛生、医薬品の検査・分析及び調査業務

(8) エコアクション21実施体制図



3. 事業内容

飲料水検査

上水道、簡易専用道、ミネラルウォーター類、井戸水、プール水、浴槽水など各種法令に基づいた水質検査を行っています。



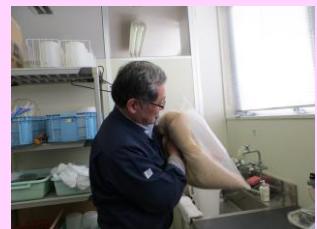
医薬品検査

医薬品用の主/副原料の理化学試験、微生物試験、製剤の安定性試験、また高薬理活性物質の試験受け入れも行っています。



食品検査

輸入食品の製品検査、残留農薬検査、栄養成分、添加物の分析、異物検査などを行っています。



浄化槽検査

山形県内の浄化槽法定検査を行っています。



生活環境調査

大気質調査、騒音・振動・低周波測定、交通量調査、放射線量調査などをはじめとした調査を行っています。



自然環境調査

動植物の調査や、生態系の上位に位置する猛禽類の調査も行っています。



住宅性能調査

住居における空気音遮断性能、床衝撃性能、室内静謐性能の測定、室内空気中化学物質の測定などを行っています。

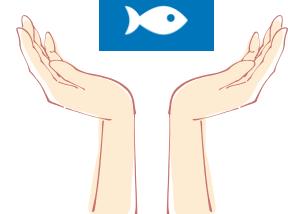


各種計量分析

河川、農業用水、工業用水などの水質分析、騒音・振動測定、悪臭の分析、作業環境測定などを行っています。



関連する主なSDGs



4. 環境経営目標

	活動項目	環境経営目標		目標項目	基準数値※1	単位	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	備考
		数値目標	活動目標							
1	電力使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	電力の使用量	217,027	kWh	217,027	217,027	217,027	山形
					9,267	kWh	9,267	9,267	9,267	仙台
2	都市ガス・LPG使用量の低減	使用量を出来るだけ抑える	維持	都市ガス使用量	25,448	m³	25,448	25,448	25,448	
				LPG使用量	10.56	kg	10.56	10.56	10.56	
3	ガソリン・軽油の使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	ガソリンの使用量	19,353	L	19,353	19,353	19,353	
				軽油の使用量	5,655	L	5,655	5,655	5,655	
4	二酸化炭素排出量の維持	—	維持	二酸化炭素排出量	233,861※2	kg-CO ₂	233,861	233,861	233,861	
5	上水道使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	上水道の使用量	1,749	m³	1,749	1,749	1,749	
6	一般廃棄物排出量の削減	リサイクル率を毎年82%以上とする	リサイクル率の向上	一般廃棄物の排出量	80.3	%	リサイクル率82%以上	リサイクル率82%以上	リサイクル率82%以上	
7	産業廃棄物排出量の削減	リサイクル率を毎年60%以上とする	リサイクル率の向上	産業廃棄物の排出量	58.0	%	リサイクル率60%以上	リサイクル率60%以上	リサイクル率60%以上	
8	環境保全活動の推進および5S運動の実施	年間1,800ポイント以上獲得する	各個人ポイント増加	全職員が積極的に環境保全活動・5S活動に取り組む（ポイント獲得制）	—	—	1,800 ポイント以上	1,800 ポイント以上	1,800 ポイント以上	
9	浄化槽法定検査実施率の維持	実施率の向上に努める年間申込数の完全消化（積み残し0）	浄化槽法定検査実施率の維持	浄化槽法定検査の年間検査基実施率を向上させる	70.3	%	70%以上	70%以上	70%以上	
10	化学物質の適正な管理	上位5品目の使用量が1,000kg以下であることを監視する	PR-TR制度対象物質の監視	対象物質使用量の継続的監視	継続的監視 1,000kg以下	—	1,000kg以下	1,000kg以下	1,000kg以下	
11	環境教育の実施	毎年12回以上環境教育を実施する	環境教育の実施	学校及び市民団体などを対象に、環境教育を実施する	12	回	12回実施	12回実施	12回実施	

※1. 2022年度（令和4年度）実績値を基準年度とする

※2. 電力の二酸化炭素排出計数は、0.457kg-CO₂/kWh(東北電力 2022年度)、0.527kg-CO₂/kWh(オリックス 2022年度)を使用

5. 環境経営計画

2023/4/3

環境経営方針	活動項目	環境経営目的 (数値目的)	環境経営目標 活動の目標	目標達成手法(項目・方法)	関係グループ (責任者)	責任区分・日程等											記入担当者	
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
1 省エネルギー	電力使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	電気エアコンの適切な温度管理	全グループ (環境管理責任者)													環境推進員
				分析機器の導入・発案	全グループ (環境管理責任者)	3月理事会予算												その他
				分析機器等の導入検討	全グループ (責任者)	フーリエ変換赤外分光光度計・高速液体クロマトグラフ・器具乾燥器・自動分解装置・インキュベーター											総務G	
				分析機器の新規導入	全グループ (総務部長)													総務G
				電力消費が増大	全グループ (総務部長)	高出試験器・ガスクロマトグラフ・遠心分離機・粉砕機・薬品保管用冷凍冷蔵庫											総務G	
				分析機器の更新・発案	全グループ (総務部長)													総務G
				電力消費の低減・維持	全グループ (総務部長)													機器担当者
				分析機器の発案	全グループ (機器担当者)	品保管用冷凍冷蔵庫												機器担当者
				廃棄物の増加・プロン使用機器の発案	全グループ (機器担当者)													機器担当者
				電力購入会社の見直し	全グループ (総務部長)	電力会社の検討	本部電力会社要望											総務部長
				費用の圧縮	全グループ (総務部長)													総務部長
				二酸化炭素排出削減の低減	全グループ (総務部長)													総務部長
2 省エネルギー	都市ガス・LPG使用量の低減	使用量を出来るだけ抑える	維持	エアコンの適切な温度管理	全グループ (環境管理責任者)													環境推進員
				冷暖房切り替え前の掃除	各試験室担当部署で実施	全グループ (総務部長)	エアコン掃除											総務G
				GHPの定期管理	GHP3台点検・整備	全グループ (総務部長)												総務G
3 省エネルギー	ガソリン・軽油使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	エコドライブの推進	全グループ (環境管理責任者)													環境推進員
				車両増車・入替	車両入替	全グループ (環境管理責任者)	本部軽ワゴン1台入替											総務G
				車両増車(環境負荷増)	全グループ (環境管理責任者)													総務G
4 省エネルギー	二酸化炭素排出量の維持	—	維持	毎月の集計及び四半期ごとの監視報告	目標との比較 (環境管理責任者)	電力使用量・都市ガス・LPG使用量・ガソリン・軽油使用量の集計	毎月報告											総務G
				不適合となる予測の有無	不適合となる予測の有無 (環境管理責任者)													総務G
				毎月の目標との比較	目標との比較 (環境管理責任者)	電力使用量・都市ガス・LPG使用量・ガソリン・軽油使用量の集計	毎月報告	毎月報告	毎月報告	毎月報告	毎月報告	毎月報告	毎月報告	毎月報告	毎月報告	毎月報告	四半期報告	
5 省資源	上水道使用量の維持	使用量を出来るだけ抑える	維持	毎月の集計及び四半期ごとの監視報告	目標との比較 (環境管理責任者)	不適合となる予測の有無 (環境管理責任者)	四半期報告											環境推進員
				洗浄水、リーン水等の適量使用	検査・医薬品 (総務部長)													環境推進員
				漏水の監視	水道メーター検量時に確認	全グループ (総務部長)	メーター検量	メーター検量	メーター検量	メーター検量	メーター検量	メーター検量	メーター検量	メーター検量	メーター検量	メーター検量		総務G
6 省資源	一般廃棄物排出量の削減	リサイクル率を毎年8.2%以上とする	リサイクル率の維持向上	分類の徹底(排出量の全量把握)	焼却ごみ・リサイクル品の把握	全グループ (環境管理責任者)												環境推進員
				収集履歴・処分業者契約確認	西半年度許可期限を確認	全グループ (総務部長)	○	契約書確認	○	契約書確認	○	契約書確認	○	契約書確認	○	契約書確認	○	総務G
				焼却ごみの新たな分別リサイクル	手間をかけない分別 新たなりリサイクル	全グループ (総務部長)												環境推進員
7 省資源	産業廃棄物排出量の削減	リサイクル率を毎年6.0%以上とする	リサイクル率の維持向上	分類の徹底(排出量の全量把握)	焼却・理立・リサイクル量の把握	全グループ (環境管理責任者)												環境推進員
				法令遵守	分析機器の発案	全グループ (機器担当者)	品保管用冷凍冷蔵庫											機器担当者
				分析機器の発案	分析機器の発案	全グループ (機器担当者)	ガスクロマトグラフEDC検出器											機器担当者
8 環境保全活動	環境保全活動の推進及び5S運動の実施	年間1800ポイント以上獲得する	各個人のポイント增加	試薬瓶回収者の検索	業者側回収の打ち切りを検討している リサイクル率の低下	検査・医薬品 (環境管理責任者)												環境推進員
				高活性医薬品試験量の増加	医薬品 (試験GL)	伸ばす量の監視												環境推進員
				特別留意産業廃棄物の排出	医薬品 (試験GL)	年1回の排出を行う(全量焼却処分)												環境推進員
9 環境保全活動	浄化槽法定検査実施率の維持	実施率の向上に努める 年間申し込み数の完全消滅(積み残し)	浄化槽法定検査実施率の維持	5S運動の実施	毎月の掃除活動・年末の大掃除	全グループ (環境管理責任者)	センター本部会場を分別して掃除を実施											環境推進員
				エコポイントの獲得(レベル1)	エコポイントの獲得(レベル1) E-Tエコランティア活動への参加	全グループ (総務部長)	年次の大掃除											環境推進員
				環境セミナー・ボランティアへの参加	松島バータフェス	松島バータフェス	松島港再生活動	松尾鶴山森林活動	松島港再生活動	調査G								
10 環境保全活動	化学物質の適正な管理	上位品目の使用量が1,000kg以下であることを監視する	PR-TR制度対象物質の監視	PR-TR制度対象物質の購入量の把握	検査・医薬品 (総務部長)													環境管理責任者
				使用量の多い5種類の化学物質について監視を続ける	アセトニトリル・ヘキサン・クロロホルム N,N-ジメチルアミド・トリエチル	毎月集計												環境管理責任者
				学内外市民団体等に対する講演	講演担当者													—
11 環境教育	環境教育の実施	毎年12回以上環境教育を実施する	環境教育の実施	学内外団体との講演	講演担当者	1												—
				講習会への講師派遣	講習会担当者	2												—
				その他の	全グループ	1	1											—

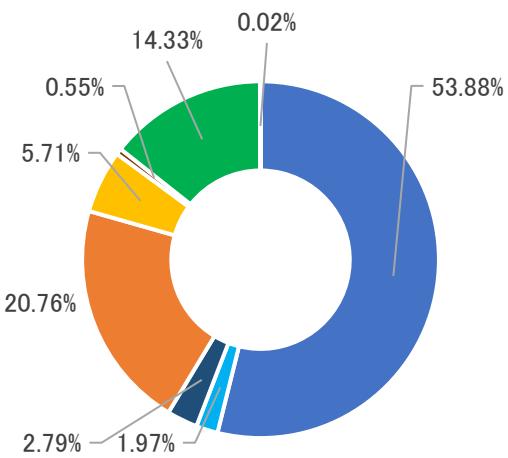
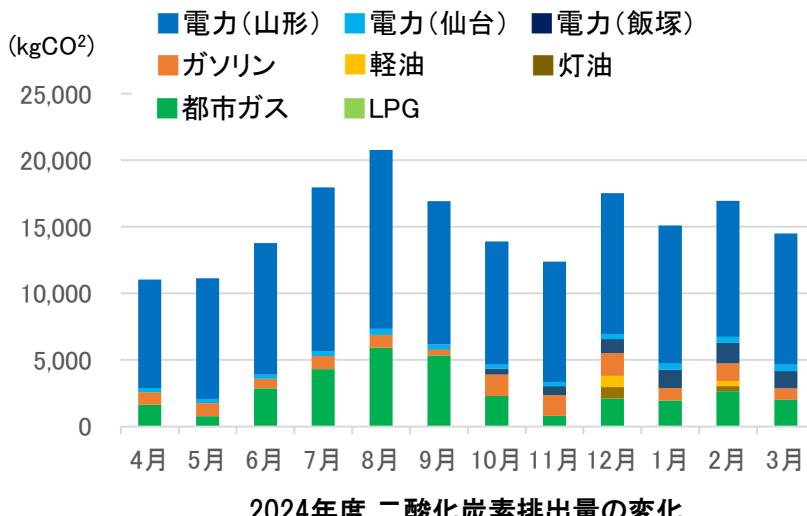
※次年度の経営計画は、2023年度と同程度が見込まれている

6. 環境経営目標および環境経営計画の実績

■ 二酸化炭素排出量

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
二酸化炭素排出量の低減	233,861 kgCO ₂	228,088 kgCO ₂	97.53%	達成

※1. 電力の二酸化炭素排出係数は、0.457kg-CO₂/kWh(東北電力 2022年度)を使用

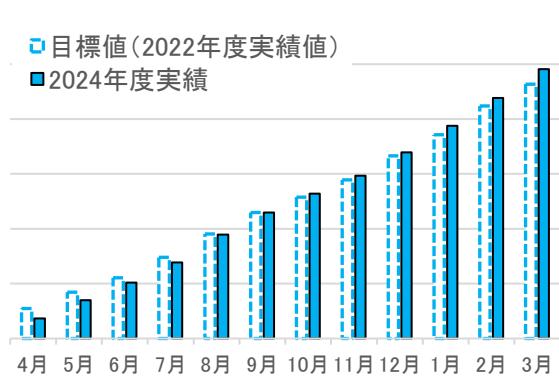
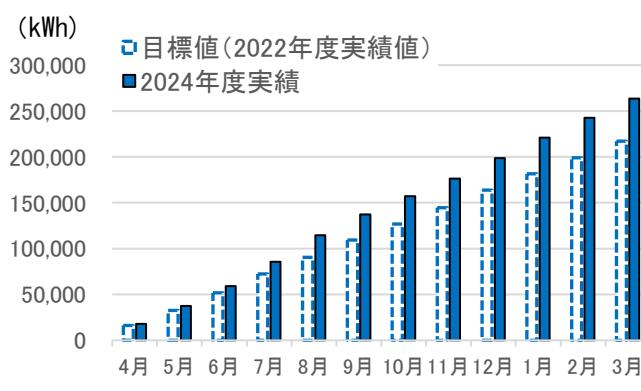


都市ガスから電力への転換により、総排出量は減少していると考えられる。2024年10月から飯塚支所が開設されたため、半年間の運用により2025年度の目標設定を考えている。

■ 電 力

活動目標	所在	目標値	実績値	達成状況	評価
電力使用量の維持	山形	217,027 kWh	268,932 kWh	23.9%超過	未達成
	仙台	9,267 kWh	9,817 kWh	5.9%超過	未達成
	飯塚※2	-	13,915 kWh	-	-

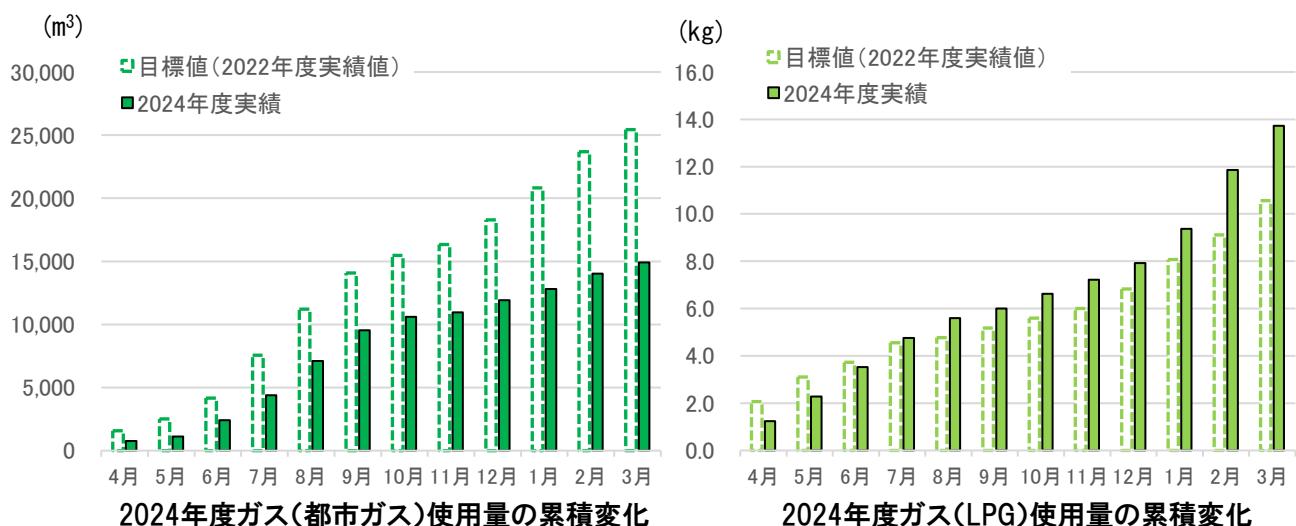
※2. 飯塚については2024年度から使用を開始しているため、記録のみとした。



山形本部においては、4月以降に電気エアコンに更新したため、大幅な電力使用量の超過となっている。その他支所においても引き続き節電に努めたい。

ガス

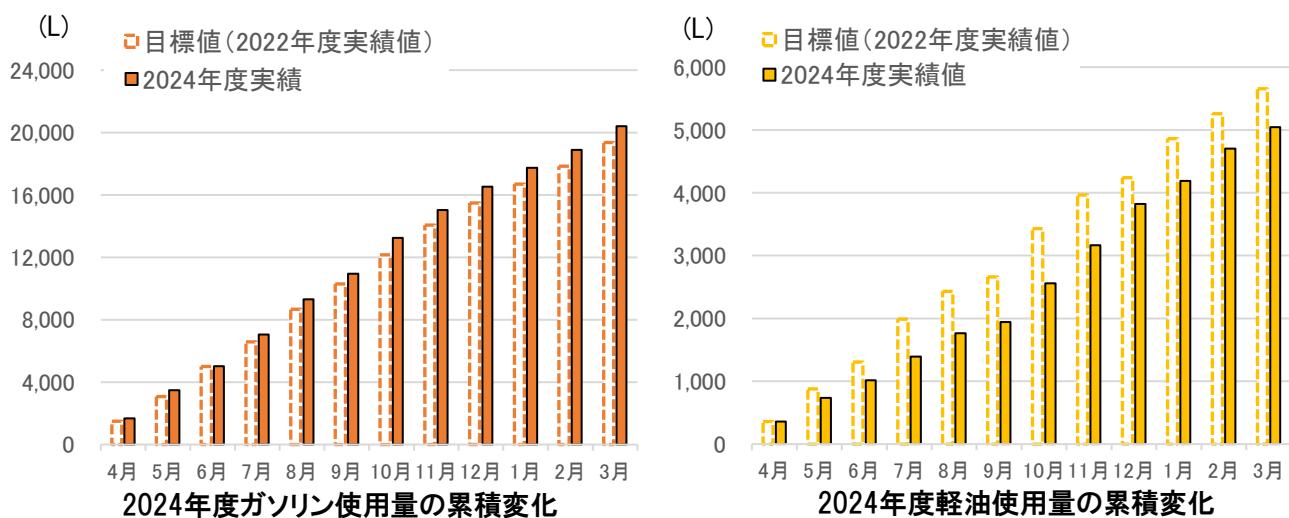
活動目標	区分	目標値	実績値	達成状況	評価
ガス使用量の低減	都市ガス	25,448 m ³	14,925 m ³	58.6%	達成
	LPG	10.56 kg	13.87 kg	31.3%超過	未達成



都市ガスは、ガスヒートポンプ（GHP）1台が修理不能となり、4月以降稼働していないことから、使用量が大幅に減少している。LPGについては、年間消費量が少量であるため、引き続き推移を注視する。

ガソリン・軽油

活動目標	区分	目標値	実績値	達成状況	評価
ガソリン・軽油の使用量の維持	ガソリン	19,353 L	20,408 L	5.4%超過	未達成
	軽油	5,655 L	5,047 L	89.2%	達成



ガソリンが目標値を5.4%上回ったものの、軽油は89.2%に留まり、総量としては、概ね計画どおりに推移している。今後も業務量の変動を踏まえつつ、適正な燃料使用の維持に努める。

■ 上水道

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
上水道使用量の低減	1,749 m ³	1,867 m ³	6.7%超過	未達成



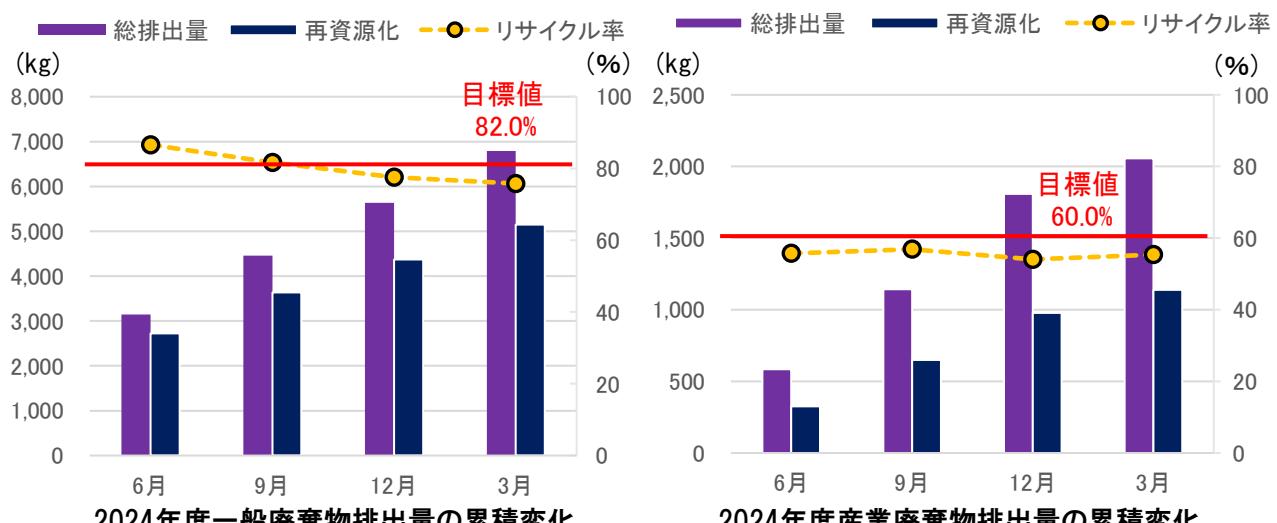
※1.) 水道使用量に関しては2か月に1回集計

2022年度（令和4年度）を基準年度とし、使用水量の維持に努めた。目標に対し、約6.7%超過しており、目標を達成していない。引き続き節水に努めていきたい。

■ 一般廃棄物・産業廃棄物

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
一般廃棄物 リサイクル率 ^{※3} の向上	82.0%	75.8%	—	未達成
活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
産業廃棄物 リサイクル率 ^{※3} の向上	60.0%	55.3%	—	未達成

※3. リサイクル率（再資源化量）/（総排出量）



※4. 一般廃棄物および産業廃棄物に関しては四半期ごとに集計している

月ごとにリサイクル率の上下動があるが、目標値前後で推移している。引き続き各種廃棄物のリサイクルに努める。

■ 環境保全活動の推進及び5S運動の実施



社外の清掃活動(1)



社外の清掃活動(2)



エコポイント活動投票BOX



美しい地球環境講座の様子(1)



美しい地球環境講座の様子(2)



高校生への講義の様子



高校生にドローンの説明



美しい地球環境講座告知ポスター
(環境生態工学研究所様 作成)

美しい地球環境講座開催実績

実施日	名称	場所	参加数※5
第11回 (3/16)	柴田 洋雄 (美しい山形・最上川フォーラム)	元気な山形づくりを目指して	30名 (9名)
第12回 (6/15)	松八重 一代 (東北大学大学院環境科学研究科教授)	気候変動に適応した食のサプライチェーンの実現にむけて	36名 (10名)
第13回 (11/9)	笠原 義正 (株式会社萬屋薬局 学術顧問、山形大学および山形調理師学校 非常勤講師)	山の幸に注意-植物性自然毒について-	40名 (24名)

※5. 参加者数 (カッコ) 内は、当センター職員の参加者数

NPO法人環境生態工学研究所 (E-TEC) 様と共に、「美しい地球環境講座」を定期的に開催しております。学識経験者の方を講師としてお招きし、当職員だけでなく、外部の皆様にも環境教育の機会を提供しています。第13回では、講師の先生や参加者の皆様とともに芋煮会を実施いたしました。そのほかには、山形県工業高校を訪問し、調査で使用するドローンを持ち込み、操作方法や業務での活用事例について説明を行いました。宮城県松島町の松島高校にも講師として伺い、松島湾の藻場再生活動に関する講義や、環境調査業務についての説明なども実施しました。

■ 淨化槽法定検査

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
浄化槽法定検査実施率の維持	70%以上	71.9% (15,783基)	-	達成

浄化槽の設置基數は毎年減少傾向にあることから、昨年度と同程度の実績を維持できれば、実績率は向上する見込みであり、計画は順調に推移している。

■ 化学物質

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
化学物質の適正な管理 (PR-TR制度対象物質の使用量)	継続的監視 1,000 kg以下	81.84kg	-	達成

当センターで監視対象としている特定化学物質は、「ノルマルヘキサン」が当センターの最大の排出量となり、年間で81.84kg使用している。なお、法改正により監視対象物質に変更があった。現在対象物質を調査中である。

■ 環境教育

活動目標	目標値	実績値	達成状況	評価
環境教育の実施	10回実施	18回	-	達成



毒物劇物取扱者関係講習講師派遣

毒物劇物取扱者関係講習、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習などの講師を派遣しております。

■ 環境教育（活動実績詳細）

講師派遣

実施日	名称	場所
5月10日	一般社団法人山形県労働基準協会連合会主催 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習	山形ビッグウイング
7月2日	松島高校観光課『松島フォーラム』	松島町文化観光交流館
7月5日	山形工業高校出張授業	山形工業高校
7月12日	一般社団法人山形県労働基準協会連合会主催 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習	山形ビッグウイング
7月29日～31日	毒物劇物取扱者受験準備講習（山形県薬剤師会）	山形県産業創造支援センター
8月1日～2日	毒物劇物資格講座	山形県農林大学校
8月7日	毒物劇物取扱者受験準備講習（JA全農やまがた）	庄内JAビル
8月9日	毒物劇物取扱者受験準備講習（JA全農やまがた）	協同の杜JA研修所
9月4日	山形県浄化槽管理士研修	山形県産業創造支援センター
9月13日	一般社団法人山形県労働基準協会連合会主催 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習	山形ビッグウイング
10月3日	「浄化槽の日」研修会	山形県産業創造支援センター
11月1日	一般社団法人山形県労働基準協会連合会主催 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習	酒田市総合文化センター
11月3日～31日	課題研究 『Matsushima観光都市デザイン 観光とSDGs』（全7回のうち3回）	宮城県松島高校
11月21日	山形市保健所『令和6年度HACCP講習会』 (菓子製造、そうざい製造業対象)	霞城セントラル
1月27日	山形市保健所『令和6年度HACCP講習会』 (一般的な飲食店営業対象)	霞城セントラル
2月6日	独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 組織基盤研修 講師	オンライン開催
2月7日	PFAS全般について	山形市消費者連合会
2月21日	一般社団法人山形県労働基準協会連合会主催 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任講習	山形ビッグウイング

■ 社外での活動一部紹介

○ 環境NPOとの共同活動、環境ボランティアへの参加



松島湾藻場再生活動(展示生物の説明)



旧松尾鉱山跡地における育種活動



アルカディアソフトパーク内のスポGOMI大会



庄内海岸クリーンアップ活動(由良海岸)



NPO法人環境生態工学研究所（E-TEC）が実施する「松島湾藻場再生活動イベント（宮城県）」に、スタッフとして参加しました。これは、震災により消失したアマモ場の再生を目指す取り組みの一環です。また、同団体による「森と海を結ぶ復元活動ボランティア（旧松尾鉱山跡地・岩手県）」にも参加しました。さらに、由良海岸で開催された「庄内海岸クリーンアップ活動（主催：山形県環境保全協議会）」やアルカディアソフトパーク内で実施されたスポGOMI大会に参加しました。ゴミ拾いをスポーツとして楽しみながら環境美化に貢献いたしました。

○ TV番組の撮影協力

TV局・番組名	放送域	内容
フジテレビ 「めざまし8（エイト）」	全国	海域の温暖化と千葉県のサンゴについて (Youtube: https://www.youtube.com/watch?v=-uu6xTBKdsA)
ミヤギテレビ 「OHバンデス」	宮城県	【うみのチカラ】水族館と共同イベント実施！！“幻の生きもの”を大調査？！サンゴタツ????【バンデス】 (Youtube: https://www.youtube.com/watch?v=jCi5vwUqkpQ&t=59s)

当センターの知名度向上と対応項目の多様性を示すために、TV番組をはじめとしたマスコミへの番組制作協力に対応しております。次年度もサンゴや熱帯性の生物の撮影協力をいたします。

7. 環境関連法規等の順守および評価、訴訟等の有無

■ 適用となる 環境関連法規等とその遵守状況

○ 水質汚濁防止法、下水道法

水質を守る事のお手伝いが本業です。当センターから排出される、下水道排出水や有害排水処理水を毎月定期的に測定し、監視しております。

○ 大気汚染防止法、悪臭防止法

試験検査室のドラフトチャンバー等は、スクラバを使用し、適正な管理運用をしております。スクラバ排水も定期的に測定を行って確認しております。

○ 毒物劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法

毒劇物の購入量及び使用量を把握し、管理を行っています。使用量が最も多い化学物質に関しても届出を要する排出量を下回っていることを確認しております。

○ 消防法

危険物の貯蔵量に関しては、消防法上の指定数量を下回っていることを確認しております。

○ 放射性同位元素等障害防止法

放射性同位元素についても密封線源になりますが適正に管理しております。

○ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

ごみ減量化、再資源化に取組み、マニフェストの管理状況等も含め適切な管理を行っております。

■ 法令違反・訴訟等の有無

これら環境関連法規への違反事例、訴訟等は環境経営マネジメントシステムを導入以降ありません。当センターでは環境経営活動を行うにあたり、該当する環境関連法規ごとに規程と手順書を整備し、自主管理を適正に行っております。

8. 全体の評価と見直し

■ 運営管理者のコメント

- ① 2024年度の実績を基準とし、「原単位」での目標設定を行うこと。
- ② 効果が期待できないような項目は削除し、一つでも二つでも新たな取り組みを加え、スパイラルアップを図ること。
- ③効率性と経済性を兼ね備えた新たな取り組みを模索すること。



対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日

発行日 2025年 6月 30日

〒990-2473 山形県山形市松栄一丁目6番68号
HP <http://www.y-rikagaku.jp/>